



記念碑 7 新道柿組合前・碑文/御散歩 御少憩所 松茸山御説明御案内に決定

記念碑 8 新道柿組合前・碑文/御散歩の折 道を誤り恐惶恐懼(きょうこうきょうく)【散歩道案内役の飯塚氏が道を間違えてしまい同行者達ははらはらした】



記念碑 4 参宮橋・碑文/御散歩御下問之碑 ひいらぎ科たも木に付いて申し上げ

記念碑 5 新道小学校庭・碑文/御散歩順路

記念碑 6 風巻山入口・碑文/御散歩の折 豆科紅花えんどう御採取給ふ



記念碑 9 礼宝山登口・碑文/御散歩の折 谷地田水草に御興じ給ふ【礼宝山の山際で小さな水草を見つけた昭和天皇はいたく気に入り立ち止まって眺めていた】

記念碑 10 礼宝山中段・碑文/御散歩の折 村娘と御出会い手籠内の栗茸に付いて御言葉を給ふ【茸採りの村娘と偶然出会った昭和天皇は籠の中身をたずねられた】



記念碑 11 礼宝山峰道・碑文/御散歩御少憩所 松茸山御案内拜辞

記念碑 12 礼宝山峰道・碑文/御散歩御下問之处 松葉ニオに付いて申し上げ

記念碑 13 上坂の別され場・碑文/御散歩御少憩所

昭和天皇の御散歩道 (●に数字は記念の石碑がある場所)



記念碑 1 飯塚邸裏門・碑文/御散歩御下問之处 飯塚家自作あかざ科幕木(ほうき)について申し上げ【裏門を出て幕木を見つけれられた昭和天皇はお好きな植物の話をまわりにされた】

記念碑 2 飯塚邸裏門・碑文/御散歩順路

記念碑 3 鵜川神社・碑文/天皇陛下御立寄碑(高さ3メートル、幅80センチ、碑文は飯塚家第13代当主飯塚知信氏書)

点線は昭和天皇が歩かれただいたいの道順。その頃は点線部分に道があった。礼宝山の山道は略してある。



記念碑 14 上坂中段・碑文/御散歩御帰途 写真班転倒御笑い給ふ【先回りしていたカメラマンがカメラを投げ出して転んだ様をみて昭和天皇はお笑いになった】



記念碑 15 風巻山西南側・碑文/御散歩御帰途 稲架穂御覧給ふ

記念碑 16 風巻山西南側・碑文/御散歩御帰途 老松御覧給ふ

記念碑 17 風巻山西南側・碑文/御散歩御帰途 墓所並開墾地御遠望

記念碑 18 バス停前・碑文/御散歩御帰途順路

